



国立大学法人

**長崎大学**

NAGASAKI UNIVERSITY

プレスリリース

平成23年8月5日

**国際原子力機関（IAEA）と長崎大学との間における  
教育と人間の健康についての協力についての実務合意調印式**

標記についてお知らせいたします。

記

1. 日時：平成23年 8月 9日（月）13時30分～
2. 場所：長崎大学事務局第一会議室（文教町1-14）
3. 内容：詳細は別紙のとおり

**【本件に関する問い合わせ先】**

**長崎大学研究国際部国際交流課**

**電話 095-819-2043**

**※交流の内容についての問い合わせ先**

**長崎大学医歯薬学総合研究課学術交流係**

**電話 095-819-7198**

【調印式】

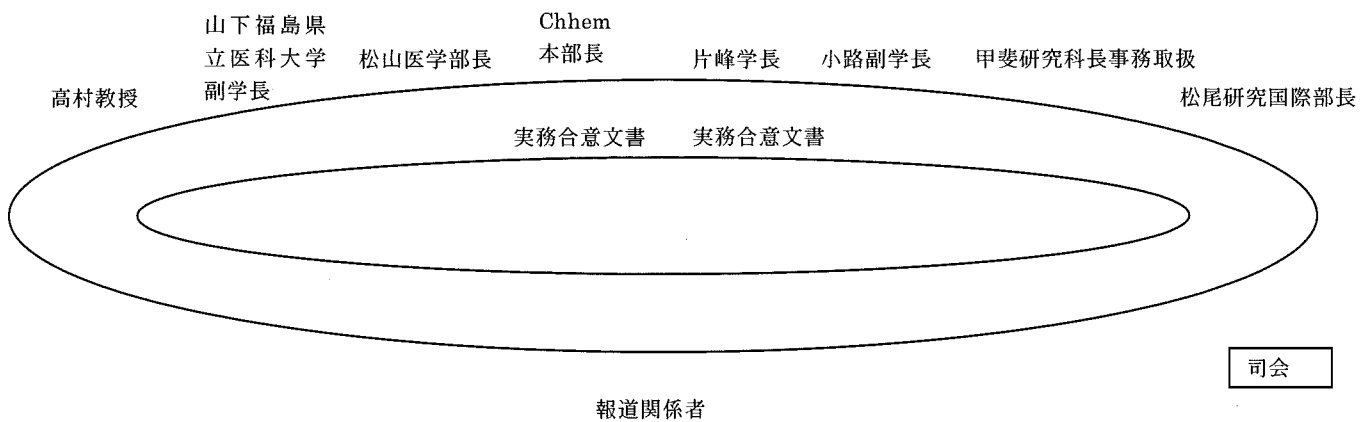
- 1. 実施日時 平成23年8月9日(火) 13時30分～14時15分(45分間)
- 2. 場 所 長崎大学事務局第一会議室(事務局3階)(長崎市文教町1-1-4)
- 3. 出席者 【国際原子力機関(IAEA)】(1名)  
Rethy Kieth Chhem, Director, Division of Human Health, Department of Nuclear Sciences and Applications, International Atomic Energy Agency  
(レシー キース チェム、国際原子力機関原子力科学応用局ヒューマンヘルス本部長)

【長崎大学側】(7名)

- 片峰 茂 長崎大学長
- 小路 武彦 長崎大学副学長(国際担当)
- 松山 俊文 長崎大学医学部長
- 甲斐 雅亮 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長事務取扱
- 高村 昇 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授
- 松尾 淳 長崎大学研究国際部長
- 山下 俊一 福島県立医科大学副学長(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授)

- 4. 次 第
  - 一 開式
  - 一 調印・実務合意文書交換
  - 一 長崎大学長挨拶
  - 一 IAEA 原子力科学応用局 ヒューマンヘルス本部長挨拶
  - 一 記念品贈呈
  - 一 閉式
  - 記念撮影  
(記念写真終了後、報道関係者からの質問を受付ける。)

配 置 図 (第一会議室)



学内関係者席

入口

## 実務合意調印式の実施について（ご案内）

- 1 調印式の名称  
国際原子力機関（IAEA）と長崎大学との間における教育と人間の健康についての協力についての実務合意調印式
- 2 調印式の日時  
平成23年8月9日（火） 13時30分～14時15分
- 3 調印式の場所  
長崎大学事務局第一会議室（事務局3階）（長崎市文教町1-14）
- 4 実務合意締結相手方出席者  
Rethy Kieth Chhem, Director, Division of Human Health, Department of Nuclear Sciences and Applications, International Atomic Energy Agency  
（レシー キース チェム、国際原子力機関原子力科学応用局ヒューマンヘルス本部長）
- 5 本学側出席者  
片峰 茂 長崎大学長  
小路 武彦 長崎大学副学長（国際担当）  
松山 俊文 長崎大学医学部長  
甲斐 雅亮 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長事務取扱  
高村 昇 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授  
松尾 淳 長崎大学研究国際部長  
山下 俊一 福島県立医科大学副学長（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授）
- 6 国際原子力機関（IAEA）の概要<sup>（注1）</sup>
  - （1）正式名称： 国際原子力機関（英文名： International Atomic Energy Agency）  
本部所在地： Vienna International Centre, PO Box 100, A-1400 Vienna, Austria  
事務局長： 天野 之弥 氏
  - （2）設 立： 1954 国連において IAEA 憲章草案の協議開始  
1956 IAEA 憲章採択会議において IAEA 憲章草案が採択  
1957 IAEA 憲章が所要の批准数を得て発効し、IAEA が発足  
（2010年4月現在の加盟国数151。）
  - （3）組 織： 総会（General Conference）  
全加盟国の代表で構成。  
理事会（Board of Governors）  
原子力に関する技術（原料物質の生産を含む）の最も進歩した加盟国として毎年6月の理事会によって指定される13ヶ国（我が国を含むG8等の原子力先進国）及び総会で選出する22ヶ国の計35の理事国から構成される。  
事務局（Secretariat）  
管理運営、原子力エネルギー、保障措置、技術協力、原子力科学・応用、原子力安全・セキュリティの6局がある。IAEAの職員の長である事務局長の下に1名の事務局長補及び6名の事務次長がおり、事務次長は6局それぞれの長として事務局長を補佐している。

- (4) 職員数 : 事務局長 : 1名, 事務局長補 : 1名, 事務次長 : 6名  
(全職員数 : 約2,300名)

(注1) 出典 : IAEA ホームページ <http://www.iaea.org/About/>、及び外務省ホームページ [http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/atom/iaea/iaea\\_g.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/atom/iaea/iaea_g.html) より抜粋)

## 7 交流の内容

- (1) 教育、研究と健康プログラム
- (2) 教員、研究者、学生、その他研究・事務スタッフの交流
- (3) 学術情報及び資料の交換

## 8 締結の経緯

国際原子力機関（以下 IAEA）と本学との学術交流は、人物交流を中心に2009年から始まっております。継続的な協力体制を構築することにより、さらなる成果が期待されるため、教育と人間の健康についての協力についての実務合意を締結するに至りました。

(2009年) IAEA の谷口富裕事務次長が長崎大学第45回 GCOE セミナー<sup>(注2)</sup>にて講義を行われました。

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の山下俊一教授が IAEA を訪問し、専門家会議に参加しました。

(2010年) IAEA の Rethy Kieth Chhem 原子力科学応用局ヒューマンヘルス本部長が長崎大学第72回 GCOE セミナー<sup>(注2)</sup>にて講義を行われました。

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の山下俊一教授、及び高村昇教授が IAEA を訪問し、それぞれ専門家会議に参加しました。

(2011年) 2月に長崎にて、第13回 WHO-REMPAN 国際専門家会議を開催した際、IAEA の専門家が参加及び発表を行われました。

3月から9月まで、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科放射線医療科学専攻の大学院生関谷悠似医師が、IAEA 原子力科学応用局に長期出張し、インターンシップを受けています。

(注2) 平成19年度グローバル COE プログラムの「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」が採択され、大学院生及び医師等を対象に放射線健康リスクに関するテーマで講師を招き定期的にセミナーを開催しています。

## 9 今後の交流計画

緊急放射線被ばく医療分野に加えて、福島第一原子力発電所事故に伴う住民の健康評価、健康増進の分野においては、両機関が協力して解決にあたる予定です。それに加えて、人事交流の継続によって、長崎大学の若手研究者が将来、IAEA をはじめとする国際機関で活躍できる場を提供できるようになることが期待されます。

## 10 主管部局 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

問合せ先 長崎大学研究国際部国際交流課 (TEL : 095-819-2043)

交流の内容に関する問合せは、主管部局の医歯薬学総合研究科学術交流係 (TEL : 095-819-7198) にお問い合わせいたします。